

岡山県金融経済月報

1. 概況

県内景気は、海外経済減速の影響が増しているものの、内需の底堅い動きもあって、基調としては緩やかに拡大しつつある。

最終需要をみると、個人消費は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減は和らいできており、基調としては持ち直している。設備投資は、高水準を維持している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、増加している。輸出は、減少している。

こうしたもとで、県内主要製造業の生産は、弱めの動きとなっている。

雇用・所得環境をみると、労働需給が引き締まった状態が続いているほか、雇用者所得は改善を続けている。

2. 実体経済

(1) 個人消費

個人消費は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減は和らいできており、基調としては持ち直している。

百貨店およびスーパー売上高は、持ち直している。乗用車販売は、持ち直している。家電販売は、持ち直している。この間、旅行取扱高は、前年を下回った。主要観光地への入り込みは、前年を上回った。

(2) 設備投資

県内企業の設備投資は、高水準を維持している。

19/12月短観調査における設備投資額は、19年度は、製造業が増加する一方、非製造業が減少することから、全体では減少計画となっている。

この間、着工建築物床面積(非居住用<10月~12月>)は、前年を下回った。

(3) 住宅投資

住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

12月の県内新設住宅着工戸数をみると、持家系、貸家系ともに前年を上回った。

(4) 公共投資

公共投資は、増加している。

発注の動きを示す県内公共工事保証請負額をみると、12月は、「県」を中心に前年を上回った。

(5) 輸 出

輸出は、減少している。

11月の県内輸出（通関実績）をみると、化学製品や石油製品を中心に前年を下回った。

(6) 生 産

県内主要製造業の生産は、弱めの動きとなっている。

11月の県内鉱工業生産指数（直近計数）の季調済前月比は、2か月連続で低下した。

主 要 製 造 業 の 生 産 動 向

業 種	足 も と の 動 向
自 動 車	弱含んでいる。
鉄 鋼	弱めの動きとなっている。
石油化学	生産水準が低下している。
石油精製	高めの生産水準となっている。
造 船	持ち直している。
織 維	弱めの動きとなっている。
電気機械	持ち直しつつある。
耐 火 物	弱含んでいる。
農 機 具	横ばい圏内の動きとなっている。
工作機械	生産水準が低下している。

(7) 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、労働需給が引き締まった状態が続いているほか、雇用者所得は改善を続けている。

労働需給面をみると、有効求人倍率は、高水準で推移している。11月の所定外労働時間は、前年を下回った。

雇用面をみると、11月の常用労働者数は、前年を上回った。12月の解雇者数、雇用保険受給者数は、ともに前年を下回った。

賃金面をみると、11月の一人当たり現金給与総額は、前年を下回った。

(8) 物 価

12月の岡山市消費者物価指数（2015年基準、生鮮食品を除くベース）は、生鮮食品を除く食料や教育娯楽を中心に前年を上回った。

(9) 企業倒産

12月の県内企業倒産（東京商工リサーチ調べ、負債総額10百万円以上）をみると、倒産件数は前年を下回った。負債総額は前年を上回った。

3. 金 融

(1) 実質預金

12月の県内実質預金をみると、全体では前年を上回った。

(2) 貸 出

12月の県内貸出をみると、全体では前年を上回った。

(3) 貸出約定平均金利

12月の新規貸出約定平均金利（総合ベース）、ストック金利(同)は、ともに前月比低下した。

以 上

内容についてのご照会は下記までお願いします。

〒 700-8707 岡山市北区丸の内1-6-1 日本銀行岡山支店 総務課

TEL 086-227-5111 (代表)

FAX 086-227-6350

ホームページアドレス <http://www3.boj.or.jp/okayama/>